

横浜こども科学館

横浜市第4号ESCO事業者を募集！！

～10月4日より公募開始～

市内企業の参画が必須条件

○ **横浜市第4号 ESCO 事業として横浜こども科学館に ESCO 事業を導入します。**

導入理由

横浜こども科学館は 1984 年に創造豊かな青少年育成のための科学的知識の普及などを目的に設立されたもので、**竣工後 21 年が経過**し、設備機器類が更新時期にきており、**省エネルギー、光熱水費の削減が課題**となっていました。

- 平成16年度策定の「**横浜市公共建築物 ESCO 事業導入計画**」において、横浜こども科学館は民間資金活用型 ESCO 事業による省エネルギー効果が大きく、光熱水費の低減が大幅に図れることが見込まれています。

公募の特色

今回の事業は、省エネルギー化への提案から機器更新等の設計・施工、維持管理まで、全て提案事業者が行い、その費用は削減された光熱水費の一部から支払うこととなる**民間資金活用型 ESCO 事業**です。

- 提案にあたっては、**省エネルギー率 5%以上および二酸化炭素排出削減率 5%以上の削減、光熱水費は 200 万円以上の削減を前提**にしています。(過去3ヶ年平均の光熱水費は、約 4000 万円/年)
- また、館の設置目的から、将来の地球を担う**青少年に対する環境教育**を地球温暖化対策や省エネルギーの観点から興味を持って取り組める提案も期待しています。
- さらに、市内企業の参画が必須で、**市内企業が参加グループの一員となることを条件**とする募集です。積極的な応募を期待しています。
※募集要項の「応募者の役割」において、「建設役割の構成企業のうち最低1社は、横浜市内企業とする。」と記載し、より多くの市内企業の参加を期待しています。
- 募集要項は、10月4日から7日まで下記にて配布します。また、ホームページでも公表します。

連絡先：まちづくり調整局公共建築部保全推進課省エネルギー推進担当
横浜市中区尾上町二丁目18 YSビル3階 Tel 671-3996
<http://www.city.yokohama.jp/me/machi/archi/esco/index.html>

スケジュール

- 公募スケジュール
 - ・公募：H17.10.4～31(参加表明)
 - ・事業者選定：H18.3
 - ・議会承認：H18.5
 - ・本契約：H18.10
 - ・工事完了：H19.3
 - ・ESCOサービス開始：H19.4～

施設概要

- 横浜こども科学館概要
 - ・所在地：横浜市磯子区洋光台五丁目2番1号
 - ・主要用途：博物館
 - ・敷地面積：6,000 m²
 - ・建築構造：SRC造地下2階、地上5階
 - ・延床面積：6,484 m²
 - ・建物竣工年：1984年

◆横浜市 ESCO 事業提案審査委員会委員

	氏名	職名	役割
委員長	田村 明弘	国立大学法人 横浜国立大学 工学研究院 教授	学識経験者 (建築部門)
委員	飯田 訓正	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工 学科 教授	学識経験者 (エネルギー部門)
	三枝 康雄	(株)浜銀総合研究所戦略研究部 部長	事業計画部門
	大西 隆行	キリンビール(株)横浜工場 副工場長	建築設備部門

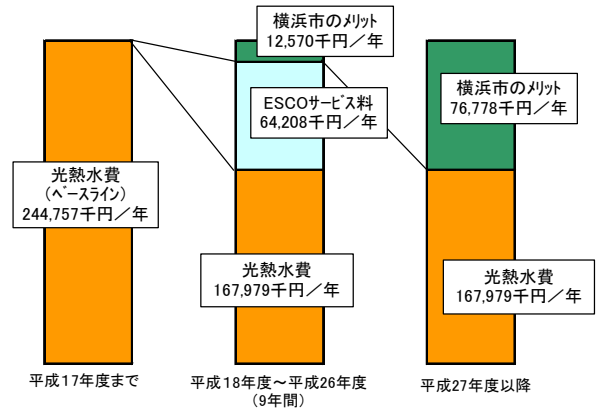
第1号事業

新横浜地区3施設ESCO事業工事開始！！ ～大幅な光熱水費削減を実現、本契約を締結しました～

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
横浜市総合リハビリテーションセンター
横浜市総合保健医療センター

- 新横浜3施設を対象としたESCO事業に関する契約を最優秀提案者であった、**エネルギーアドバンス(株)**を代表会社とする**三機工業(株)**、**川本工業(株)**、**(株)山下設計**、**東京ガス(株)**の5社からなるグループ(平成17年3月15日ESCO提案審査委員会にて選定)と平成17年9月15日に締結しました。平成18年度よりESCOサービスの提供を受けることとなりました。
- また、独立行政法人**新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)**から補助金の交付決定を受けました。
※「平成17年度エネルギー供給事業者主導型総合省エネルギー連携推進事業(建築物に係るもの)」補助対象改修工事費の1/2を補助。(全体工事費4.6億円、補助金の額1.87億円)
- 本契約の内容は、
 - ・光熱水費削減予定額 76,778千円/年、
省エネルギー率 18.2%、
CO₂削減率 30.5%
 - ・年間ESCOサービス料として
64,208千円、サービス期間は9年。
(※当初提案(補助金無し)では、
ESCOサービス料67,463千円/年、期間14年)
 - ・改修内容としては、3施設の電気と熱供給システムを統合、
高効率ガスコジェネレーションシステムの導入
高効率ガス吸収式冷温水発生機、高効率小型貫流ボイラー
への更新、空調機やポンプのインバーター化など、
多岐にわたる省エネルギー改修が盛り込まれています。

新横浜地区3施設ESCO事業の経費と利益配分(消費税込み)



※平成27年度からは、ESCO設備のメンテナンス費用が別途必要となります。

第3号事業

「戸塚センターESCO事業」に5企業グループが応募 ～本市初の自己資金型ESCO事業～

- 自己資金型モデル事業として、戸塚センターにおいて、ESCO事業者の公募を実施したところ、**5企業・グループ(合計23社)**から参加表明がありました。
- ESCO提案審査委員会(平成17年9月27日)において、資格審査した結果、**5企業・グループ全てに提案要請**を行うことになりました。これらの企業・グループの代表者は、いずれもESCO事業に豊富な経験を有しており、設計・工事・管理等の各分野で活躍中です。さらに同委員会では、ESCO提案審査要領と評価基準を決定し、ホームページでも公表します。
- また、市内企業の参加も積極的で、各グループに1～3企業の参加があり、市内経済の活性化が期待できます。
- 今後のスケジュールとしては、**11月29日に提案書を受け付け**、審査委員会のヒアリング等を経て**12月中に最優秀提案者を選定**する予定です。平成18年度に改修工事を行い、ESCOサービスの提供は平成19年度より受ける予定です。

◆応募企業・グループ(NOは受付順、網がけは市内企業)

No	代表企業名	グループ構成企業名				
1	三機工業(株)	(株)共信設備設計	日宝工業(株)	(株)共栄社		
2	ダイダン(株)	(株)日生建築計画研究所	大洋建設(株)	(株)キョーイーヨコハマ		
3	東京電力(株)	日本ファシリティ・ソリューション(株)	東洋熱工業(株)	川本工業(株)	関電工(株)	(株)山武
4	(株)日本流通リース	川重商事(株)	(株)山下テクノス	日本空調サービス(株)	正和工業(株)	
5	(株)明電舎横浜支店	エルゴテック(株)	扶桑電機(株)	(株)日本環境設計		